

2018-2019 年度 国際ロータリーテーマ 「 Be The Inspiration 」

第2580地区

東京セントラルパークロータリークラブ

The Rotary Club of Tokyo Central Park

Weekly Report

2018-2019年度 スローガン

「広げよう奉仕の輪、親睦・友情の輪」

第27回（通算1700回）2019年4月9日



本日の例会



18:00	開会点鐘	東京セントラルパーク RC	松林会長
	ロータリーソング	「奉仕の理想」	ソングリーダー
	季節の歌	「さくら さくら」	ソングリーダー
	お客様の紹介	東京セントラルパーク RC	松林会長
	会長、幹事挨拶	東京城北 RC	佐山政昭会長・池田竜郎幹事
		東京セントラルパーク RC	松林 茂会長・榛村浩一幹事
	委員会報告	東京セントラルパーク RC	東京城北 RC
	ニコニコBOX	東京セントラルパーク RC	東京城北 RC
18:30	閉会点鐘	東京セントラルパーク RC	松林会長
18:30～19:00	懇談(お食事)		
19:00～	アトラクション		司会/中山会場監督委員長
		～ 落語の夕べ ～	三遊亭若圓歌師匠
19:45	ロータリーソング	「手に手つないで」	ソングリーダー
	閉会の挨拶	東京セントラルパーク RC	榛村幹事
20:00	お開き		

本日の例会 「東京セントラルパーク RC・東京城北 RC 合同夜間例会」

次回の例会〈4/16〉「例会休会日」

◆◆◆ 先週の例会記録 ◆◆◆

2019年4月2日 第26回(通算1699回)
開会点鐘 松林会長 B1「白鳳の間」
*ビジター紹介 2名 野原数生様(東京 RC)/
神田伸敬様(東京御苑 RC・次年度会長)
*ゲスト紹介 2名 岩井直子様(RYLA カウンセラー・東京武蔵野中央 RC 会員岩井昭治氏令夫人)/古川りえさん(卓話者・第1回ライオン)
出席 27名 欠席 8名 (免除者 1名)
出席率 79.41% 補正出席率(3/5) 75.76%

◆◆◆ 松林会長より ◆◆◆

- ① 地区青少年交換委員会より、2020年の青少年交換派遣学生の募集案内が来ています。詳細に関しては事務局迄お願いします。
- ② ロータリーの友電子版のご案内が来ています。pdfにて配信いたしますので、是非、ご活用下さい。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- ① 4月は、「母子の健康月間」です。国際ロータリー日本事務局から特別月間に関するリリース案内が届きました
- ② 本日11時より定例理事会を開催いたしました。詳しい内容は、週報の議事録にて、報告いたします。
- ③ 今週の5日に、東北の震災から支援していました、陸前高田横田小学校に最後の訪問に松林会長と数名で行ってきます。
- ④ 次回の例会は、来週9日(火)東京城北 RCさんと合同夜間例会です。開会点鐘は、午後6時です。お間違えの無いようにお願いします。

第10回理事・役員会議事録

4月2日午前11時より27F「アプローズ」にて第10回理事・役員会を開催しました。

出席者：松林、萱森、中山、小野、渡辺、小林、橋本、花形、富永、牧野、川松、白石、榛村
(以上13名)

1. 3月度会計報告に関して
小野会計から報告があり、承認されました。
次回に年度予算予定を出し、話し合う。
2. 4月度日程と卓話スケジュールに関して

23日の演題は未定ですが、4月は変更なく予定通りです。5月21日の卓話は、江上会員・佐藤会員の卓話と来期の予算についての話しに決まりました。

3. その他

- ① 4月23日(火)地区研修協議会について出席義務者に確認をする。
- ② 4月9日(火)合同夜間例会に関して式次第の変更で、例会の閉会点鐘の後、松林会長が乾杯・懇親会の「手に手つないで」終わり次第着席せず司会の中山 SAA 委員長が閉会挨拶になりました。その他、アトラクション・会費等の確認し承認頂きました。
- ③ RI2019年度決議審議会について理事会で承認頂き、会員皆様に資料を送り確認してもらう。

以上の通りご報告いたします。 幹事 榛村浩一

◆ ◆ ◆ ニコニコBOX報告 ◆ ◆ ◆

地区 RYLA 委員・岩井昭治様：東京セントラルパーク RC の皆様。RYLA 活動にご理解、ご支援、そして受講生の古川りえさんを送り出して頂きました事、感謝申し上げます。有難うございました。

川松会員：3月ニコニコ大賞をもらいコウフンして忘れてしまいました。3月の妻への誕生日のお花、ありがとうございました。

小林会員：映画観賞会にご参加の皆様、有難うございました。

杉本会員：誕生日の素敵なお花、有難うございました。

古川会員：本日娘が RYLA プログラムの報告をさせて頂きます。よろしく申し上げます。

酒粋会：3/7 酒粋会、無事終了しました。次回は4/16です。皆さん参加して下さい。

今週の合計 6件	32,880円
累計	1,919,065円

映画鑑賞会後記 『こどもしょくどう』

桜が次々と咲き競う3月29日、久々の映画鑑賞会が開催された。会場は神保町にある『岩波ホール』、今は亡き高野悦子女史がエキブ・ド・シネマを立ち上げ、他の館では観ることの出来な国々の映画を届け続けている稀有な映画館である。上映作品は日向寺太郎監督による『こどもしょくどう』、満足な食生活を送れない子どもたちに食事を提供する”子ども食堂”と呼ばれる形態を、ある家族が実行することになるまでを描く一作。主人公である下町の食堂の長男、いじめられっ子の同級生、車中生活をする姉妹の心の交流が、子どもの目線で描かれる物語。

映画ファンなら、当然のことながら往年の小栗康平監督の名作『泥の河』が彷彿とさせられる。ひとことが言えなくて苦い思い出となるより、正しいと思うことを主張する勇気を、すべての子どもたちが持てるようになればいい。

鑑賞後は『新世界飯店』で懇親会。美味しい料理と紹興酒を愉しみながら、作品の感想や”子ども食堂”実現案などが飛び交った。紀尾井町ロータリークラブの映画ファンである奥寺邦俊氏含め、16名の参加者の皆さん、そして主催の小林力氏、お疲れ様でした！

【記/大橋美加会員】

季節の歌

「 さくら さくら 」

作詞・作曲：日本古謡

さくら さくら
のやまも さとも
みわたす かぎり
かすみか くもか
あさひに におう
さくら さくら
はなざかり

◆◆◆ 先週の例会より ◆◆◆



4月お誕生日・結婚記念日の皆さん



◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

小野次年度幹事

本日、2019-20年度「クラブの目標および活動計画」原稿提出のお願い文書を次年度各委員長ポストに配布致しました。5月28日の期日までに事務局へご提出願います。

陸前高田市横田小学校感謝の会での会長挨拶

皆様、私は東京セントラルパークロータリークラブの会長の松林と申します。

まず、ロータリークラブがどんなものか簡単に説明をさせていただきます。

ロータリークラブは 100 年以上も前の 1905 年にアメリカのシカゴで 4 名の会員により作られました。その後、この集まりは社会に良いことをしようという事で社会奉仕を最大の目的といたしました。

いまや、この日本には約 10 万の会員、全世界には約 120 万人の会員を擁しています。

8 年前の 2011.3.11 の東日本大震災の当日、私共の会員の一人が、大崎市と言うところから、車にありったけの毛布、非常用食料などを車に詰め込んで、気仙沼を目指しましたが、日も暮れ、道路ももう先に行けない状況でこの小学校にたどり着いて、救援物資をこちらにおろしたしその時から、私ども東京セントラルパークロータリークラブと皆様の横田小学校のお付き合いが始まりました。

その後、ピアノの寄贈、学業に必要な資金の提供、さらにこちらの校庭に移築されたブランコ・ジャングルジム・スベリ台の 3 つの遊具の寄贈などをさせていただきました。

ただ、遊具を寄贈し時に、校庭を埋めつくす被災者住宅が撤去され、寄贈した遊具が仮設グラウンドから本来の校庭に戻ってきたときにケジメとして、支援を終了しようというお約束をその時の校長先生と私でいたしました。

今日までこちらの小学校を支援させていただいて本当にありがとうございました。支援を受けられていた皆様方より私ども方が逆に力をいただきました。

今後、私どもは地元。中野区、杉並区などのへの社会奉仕活動にこの力を持っていくつもりです。

でもこれで皆さまとのお付き合いが完全に終わった分けではありません。また、何か困った時に是非、またお声をかけください。

またこちらに戻ってきてお手伝いをさせていただきます。

皆様が元気で明るい学校生活を送られることをお祈りしております。

平成 31 年 4 月 5 日



—事務局からのお知らせとお願い—

* 例会欠席の場合は、前日までに事務局にご連絡下さい。

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

例会場 ハイアットリージェンシー東京

会長 松林 茂 副会長 萱森 由美

幹事 榛村 浩一 会報委員長 塚本 将之

事務局 〒166-0004

東京都杉並区阿佐ヶ谷南 1-34-6 新東京会館

TEL(03)3312-4959 FAX(03)3312-4958

E-mail: info@tokyocentralpark-rc.com

<http://www.tokyocentralpark-rc.com/>



「 青少年交換/RYLA プログラムを経て ~人生のターニングポイント~ 」

第 1 回ライライアン 古川 りえ 様

本日は卓話にお招きいただき誠にありがとうございます。

今回は青少年プログラムと RYLA プログラムについてお話させて頂きたいと思います。

今日はみなさんに、「私の人生のターニングポイント」というテーマで卓話をさせていただきます。

なぜ、「私の人生の話をするのか?」と思った皆さんもいるかもしれませんが、その理由は、青少年交換/RYLA プログラムで得た経験が本当に私の人生の基盤となっているからです。

つまり、青少年交換プログラム・RYLA プログラムにどういった、価値があるのか、という事を皆さんに理解して頂くには、私の人生のお話する事が一番手っ取り早いと思ったからです。

最初に青少年プログラムについて説明させていただきます。

ロータリーの青少年交換プログラムは、海外の人々と交流し、異文化を体験することによって、生涯にわたる国際理解の種をまく機会を青少年に提供しています。

これは異文化に接することは、国際理解と平和を推進する最も効果的な方法というように考えられていまいるからです。留学生は「小さな親善大使」として、活動を行うこととなります。

青少年交換を通じて、学生は他国での生活のあらゆる面をじかに学び、世界に対する視野が広がるとともに、学生の自己に対する理解も深まっていきます。同時に他国の教育制度を体験することによって、学生は学業面でも人間的にも成長する事が期待できるという事です。

また、留学までの1年間は様々なロータリー行事等に参加し、来日学生とともに、日本文化について学びます。

この派遣予定 1 年間で終わると次は留学が待っています。

私の留学先はスイスでした。スイスの特徴をお話すると、公用語が 4 つある事。外国人人口比率が世界トップレベルで 25%。約 4 人に一人が外国人な事です。スイスは本当に多国籍・多文化が共存している国でした。

学校は、フリブルの中心にある、高校に通っていました。この学校はドイツ語が母国語の人のクラス/フランス語が母国語の人のクラスがあり、私はホストファミリーの母国語がドイツ語でという事もあり、ドイツ語が母国語となるクラスに入りました。

初めは学校に全く馴染めないという問題がありましたが、担任の先生からの助言により、自発的に行動するようになり、スイスで本当に素晴らしい 1 年間を過ごすことができました。

留学の1年を終え、得た経験が3つありました。

- ① 多様性を受け入れる心。これはスイスの多民族・多文化国家から学んだ事です。
- ② 自発的になる事。これは、学校で得た事です。
- ③ 外国人の中にも違和感を覚えず、動じなくなった事。外国人人口比率が高いにもかかわらず、学校で私が唯一のアジア人だったので、常に自分が外国人で、そこに対する負い目・恐怖感などはなくなりました。

留学後はROTEXとして活動をしていました。

ROTEXの間、①日本に来る留学生のサポート②派遣予定学生の準備期間を充実させる企画を考え、運営。③実際に留学をしている日本人の子たちへ向けアドバイス行う。などをして活動していました。

派遣予定学生で1年、留学生として1年、ローテックスとして2年、16歳から約4年間、皆様のおかげで、この青少年プログラムに関わる事ができました。

そして、私がこの青少年プログラムを通して得た事、大きく3つあります。

- ① 国際人としての自覚が芽生えた事。
- ② お互いを尊重し合う心をもてた事。
- ② 一生付き合える大切な仲間ができた事。

これらの3つは私の人生の中で大きな財産となっています。

そんな私にとって大切な青少年プログラムが終わり、大学時代・社会人へ進んでいきます。

大学生活を終え、私は三菱自動車工業に入社しました。ある時から国際モーターショーの運営・企画を任されるようになり、そこから企画をプロデュースする事に興味を持ち、ご縁もあり、2018年より海外アーティストのコンサート企画・運営をしている会社へ入社しました。

私はこの仕事が大好きで1年間突っ走ってきました。この大好きな仕事をしている内に、将来の自分のキャリアについて真剣に考えるようになりました。そんなときに出会ったのがRYLAのプログラムです。皆様のご支援があり、本当にグットタイミングで、この素敵なプログラムに参加する事ができました。

RYLAプログラムとは？

リーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい……。

そんな考えを実現するための第一歩となるのがRYLA。ロータリークラブ又は地区が実施するこのプログラムで、若い人達が新しい仲間をつくり、楽しみながらリーダーシップのスキルを磨いていくプログラムです。

第一回のセミナーテーマは「心にふれあう」です。

「心にふれあう」とは……？

- ① 新しい友人を発見して、他者の心にふれあう。
- ② 自分を見つめなおし、自身の心にふれ合う。
- ③ ロータリーの心にふれ合い、奉仕の心を養い平和について考える機会とする。

1日目は、

「リーダーになる為にはどんな事が重要か」というテーマで2人の特別講師より講義をして頂きました。

今回のプログラムには特徴があり、20歳～31歳27名参加していましたが、3つの班に分かれて常に班ごとに行動をしていました。また、ロータリアンさんと3つの約束をし、中には当たり前の事もあるのですが、3日間徹底して実践してみると、そこから得るものも沢山ありました。

- 1つ目、当たり前ですが、時間厳守。
- 2つ目、ケータイ・パソコンの使用禁止でプログラムに集中する。
- 3つ目 常に班の人と行動する事。

2日目は、午前中に「出産といのち・人生の中でおこる困難」をテーマに講義・ディスカッションを行いました。班のメンバーが抱えている悩み、今直面している困難を打ち明け、「他人の心に寄り添う。」事が目的でした。それぞれのメンバーの悩みに皆で真剣に向き合う事で、メンバーとの距離が物凄く縮まりました。

その後、RYLA プログラムのメインテーマである、フォーラムテーマ発表がありました。今回のフォーラムテーマは「サル山のボスザルはリーダーシップがあるか？また、真のリーダーシップに必要な要素上位 4 つあげよ。」でした。このテーマをもとに班ごとに半日以上かけて、ディスカッションを行いました。

ここで、素晴らしいなと思ったのが、班のメンバー全員が、真剣に意見を出し合い、真剣に議論し、次の日のフォーラム発表へ向けて準備をしました。まさに「大人の本気」でした。

最終日は、前日に出されたテーマについて、各班15分間の発表を行いました。

各班発表後、フォーラムリーダーのロータリアンさんより講義をして頂き「最近のハーバード大学の研究によると、リーダーになる為の素質が備わってなくても、真のリーダーはいかに自分からアクションを起こし行動・実践するかが大切だ」と言う大変興味深いお話を伺いました。

そして、3日間の RLYA プログラムを修了し、晴れて第一期生のライラリアンとなりました。

RYLA プログラムを通して、行動・実践する大切さを改めて認識し、自分のキャリア軸もより明確なものとなりました。そして、今後はずっとお付き合いをしていくであろう、新しい仲間との出会いもありました。

私にとって、自分の視野を広げ、自分の可能性を信じ、様々な事を実践し行動に移す後押しをしてくれたのがロータリーです。

青少年交換/RLYA プログラム・ロータリーとの出会いは間違えなく私の人生のターニングポイントでした。

自分が輝ける機会を与えてくれたのが、ロータリーでした。

私の今後のビジョンは、日本の音楽・文化を海外に広める事/海外の音楽・文化を日本に取り入れる事です。

ロータリーを通して異文化を学んできたからこそ、日本と海外の大きな懸け橋になりたいと思っています。

最後に皆さんに伝えたいことがあります。それは感謝の気持ちです。

よく、派遣学生・留学生を含め色々な方々が「この機会を与えてくれてありがとうございます。」と言っていると思います。

中には、「はいはい、また社交辞令・・・」と思う方もいるかと思いますが。

でもそれは本当に違います。この青少年に向けた青少年交換/RLYA プログラムは本当に関わった人の人生に大きな財産を与えています。それだけ、このプログラムは価値のあるものだとは確信しています。

これが、今日一番皆様にお伝えしたかった事です。

皆様のおかげで素敵な機会に巡り合えたことに感謝して、本日の卓話を終了致します。

ご清聴ありがとうございました。